

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-84	高等学校	地理歴史科	地理B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	地B306	地理B		

## 1. 編修の基本方針

### (1) 現代世界の地理的認識を深められる教科書

- ・本文は、平易で読みやすい記述を心がけ、現代世界の諸事象を地理的に考察し、認識を深めることができるようにした。
- ・本文内容を補足した「NOTE」と重要語句を解説した「TERM」、学習内容に関連した話題を示した「Column」などを適宜設け、具体的かつ多角的な学習ができるようにした。

### (2) 世界に広がる地理的事象を多面的・多角的にとらえられる教科書

- ・地図や写真などの資料を豊富に掲載し、世界に広がる様々な事象を地理的な視点から具体的にとらえられるように構成した。また、図版の読み取りの視点を示す「POINT」を各所に設け、本文と図版との関連を図り、地理的事象について考えを深められるようにした。
- ・随所に設けた「ACTIVE」によって、当該のページの学習内容について自分の考えを文章にまとめたり、意見交換したりする活動を示し、生徒が主体的な学習（アクティブ・ラーニング）に取り組めるようにした。
- ・第1編「様々な地図と地理的技能」や各編の「SKILL」などの学習を通して、地図やグラフなどの資料の見方や活用の仕方といった基本的な地理的技能を身に付けるとともに、地理的な思考力・判断力・表現力を育成できるようにした。

### (3) 地理学習を通して、社会の形成を主体的に担う自覚と資質を養う教科書

- ・第2編「現代世界の系統地理的考察」、第3編2章「現代世界の諸地域」では、様々な諸課題やその解決に向けての取り組みを取り上げ、生徒に課題意識を持たせるとともに、自らもその社会を構成する一員である自覚を持たせるようにした。
- ・第3編3章「現代世界と日本」で日本の抱える課題を自ら見出し、解決策を探究させ、地理Bの学習の成果として主体的な社会参画意識を促すようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 さまざまな地図と地理的技能 第1章 地理情報の表現方法 1 球体としての地球 2 地理情報と地図 3 地理情報を地図化する	幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)	6~28 ページ
第2章 地図の活用と地域調査	「SKILL」を設け、生徒が地理学習に必要な基礎的技能を習得できるようにした。(第1号)	9, 18~19, 22, 24~25, 26, 28ページ

	本文の内容を補完する「NOTE」や「TERM」, 「Column」を随所に設け, 幅広い知識が習得できるように配慮した。(第1号)	8, 12, 13, 15, 16, 23 ページ
	「ACTIVE」を随所に設け, 自分の考えを文章にまとめたり, 意見を交換したりする活動を提示した。(第2号)	7, 10, 20 ページ
	社会での活用が進む地理情報について具体的に記述し, 日常生活や企業活動にどのように実用化されているか理解できるようにした。(第2号)	10~11 ページ
	直接的に調査できる地域の調査学習を通して, 生徒一人ひとりに主体的な社会参画を促し, 社会の発展に寄与する態度を養うことができるようにした。(第3号)	20~28ページ
	熱帯林の減少を示した衛星画像を掲載して地理的スキルが環境問題の把握に有用であることを示すとともに, 環境保全の重要性を認識できるようにした。(第4号)	11 ページ
	日本における地図や測量方法の変遷について記述し, 早くから近代的な測量法による地図を作成した経緯などにふれ, 日本の伝統と文化への理解を深められるようにした。(第5号)	13ページ
第2編 現代世界の系統地理的考察	幅広い視野から現代世界を系統地理的にとらえる分析と考察の過程が身に付くよう, 本文を丁寧に記述した。(第1号)	29~228 ページ
第1章 自然環境		
1 世界の地形		
2 世界の気候		
3 日本の自然環境		
4 世界の環境問題		
第2章 産業と資源		
1 産業の発展と産業地域	「SKILL」を設け, 生徒が地理学習に必要な基礎的スキルを習得できるようにした。(第1号)	46~51, 78~79, 96~97, 102~103, 152~153 ページなど
2 農林水産業		
3 食料問題		
4 エネルギーと鉱産資源		
5 資源・エネルギー問題		
6 工業の立地と工業地域の変容	本文の内容を補完する「NOTE」や「TERM」, 「Column」を随所に設け, 幅広い知識が習得できるように配慮した。(第1号)	31, 33, 35, 37, 55, 57, 75, 85, 91 ページなど
7 第三次産業と交通・通信		
8 消費と観光		
9 貿易と経済機構		
第3章 人口, 都市・村落		
1 人口		
2 人口問題		
3 都市・村落		
4 居住・都市問題	産業の学習では, 様々な職業に従事する人々の様子の写真を掲載し, 生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)	30, 32, 38, 41, 56ページ 105, 111, 117, 119, 141, 142 ページなど

<p>第4章 生活文化, 民族・宗教</p> <p>1 生活文化</p> <p>2 民族・言語・宗教</p> <p>3 民族問題</p> <p>4 現代の国家と領土問題</p>	<p>世界各地で多様な人々が暮らし、様々な文化・言語・宗教が展開されていることやこれらに関連して生じている課題等を丁寧に記述し、今後の社会形成に向けて、多様な民族・文化等を受容する姿勢を持てるようにした。(第3号)</p>	<p>202~221 ページ</p>
	<p>日本の多様な自然環境を取り上げるとともに、環境保全に寄与できる態度を養えるようにした。(第4号)</p>	<p>82~85 ページ</p>
	<p>エコツーリズムに関する資料を提示し、環境保護や持続可能な社会づくりへの認識を深められるようにした。(第4号)</p>	<p>165 ページ</p>
	<p>地球規模の課題に対する我が国や世界的な取り組みについて積極的に取り上げ、国際社会における日本の役割について考えることができる教材を掲載した。(第5号)</p>	<p>94~95, 123, 135 ページなど</p>
	<p>世界各地に暮らす多様な人々の生活を伝統的な暮らしとその変化に触れながら取り上げ、多様な文化を理解し尊重できる態度を養うことができるようにした。(第5号)</p>	<p>202~209, 210~213 ページ</p>
<p>第3編 現代世界の地誌的考察</p> <p>第1章 現代世界の地域区分</p> <p>1 地域区分の方法と意義</p> <p>2 地誌的な考察方法とこの教科書の事例地域</p>	<p>幅広い視野から社会事象の意味を理解し、考察することができるよう、本文を丁寧に記述した。(第1号)</p>	<p>230~329 ページ</p>
<p>第2章 現代世界の諸地域</p> <p>1 東アジア</p> <p>2 東南アジア</p> <p>3 南アジア</p>	<p>「SKILL」を設け、生徒が地理学習に必要な基礎的技能を習得できるようにした。(第1号)</p>	<p>231, 233 ページ</p>
<p>4 西アジアと中央アジア</p> <p>5 北アフリカとサハラ以南アフリカ</p> <p>6 ヨーロッパ</p> <p>7 ロシア</p> <p>8 アングロアメリカ</p>	<p>本文の内容を補完する「NOTE」や「TERM」, 「Column」を随所に設け、幅広い知識が習得できるように配慮した。(第1号)</p>	<p>238, 245, 249, 251, 281, 288, 297 ページなど</p>
<p>9 ラテンアメリカ</p> <p>10 オセアニア</p> <p>第3章 現代世界と日本</p> <p>1 日本が直面する地理的な諸課題</p>	<p>「ACTIVE」を随所に設け、自分の考えを文章にまとめたり、意見を交換したりする活動を提示した。(第2号)</p>	<p>243, 245, 256, 260, 294, 299, 301, 303, 305, 324 ページなど</p>
<p>2 日本が抱える地理的諸課題を探究する</p>	<p>現代世界を地誌的に考察するなかで生活との関連を丁寧に記述するとともに、様々な職業や労働風景の写真を提示し、生徒の勤労観を育むようにした。(第2号)</p>	<p>240, 244, 247, 255, 263, 265, 279, 290, 309, 310 ページ</p>

世界各地で多様な民族がみられ、様々な文化・言語・宗教が広がっていることや、これらに関連して生じている課題等を丁寧に記述し、今後の社会形成に向けて、多様な民族・文化等を受容する姿勢を持てるようにした。(第3号)	242, 253, 261, 269, 273, 293 ページなど
身近に発生することが想定される自然災害に対して、自分たちができることを考えるとともに、地域社会の一員として主体的に関与する態度を養うことができるようにした。(第3号)	324~325 ページ
世界各地の環境問題等について取り上げ、環境保全についての意識を高めるとともに、こうした課題の解決に向けた取り組みに関与する態度を養うようにした。(第4号)	243, 271, 289, 312 ページ
世界各地の豊かな自然環境を豊富な写真資料で提示し、これらを守り後世に受け継いでいく重要性を認識できるようにした。(第4号)	252, 262, 276, 282, 292, 298, 314 ページなど
世界各地に暮らす多様な人々の生活を伝統的な暮らしとその変化に触れながら取り上げ、多様な文化を理解し尊重できる態度を養うことができるようにした。(第5号)	236~319 ページ
地球規模の視点から日本を見つめ直し、日本が抱える地理的諸課題について探究することで、国際社会の中における日本の将来の国土のあり方を展望させるようにした。(第5号)	320~329 ページ
災害発生に対応した自助・共助・公助について取り上げ、社会の一員としてこれらの防災の取り組みの重要性を認識するとともに、自らもそれに寄与する態度を養うことができるようにした。(第5号)	324~325 ページ

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 全体を通して、写真資料や地図を大きく提示するようにした。特に、「現代世界の地誌的考察」では、事例地域ごとに最初のページで地勢図を大きく提示し、地域の自然環境や全体像をとらえやすくするように工夫した。
- 「自然災害」の特設ページでは、本編に関連する事項を取り上げ、より学習を深められるように工夫した。
- カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性などにかかわらず学習をすすめられるよう留意した。
- 再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-84	高等学校	地理歴史科	地理B	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	地B306	地理B		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

◎総則における「教育課程の編成・実施に当たって配慮すべき事項」, 「教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項」に示された内容に関して, 以下の点に配慮した。

### 1. 言語活動の充実

- ①「SKILL」では, 地図・写真・グラフなどの資料の読み取りを通して自分の考えをまとめて表現するなどの言語活動を示し, 地理的な思考力・判断力・表現力が育成できるようにした。
- ②随所に「ACTIVE」を設け, 当該のページで学習した内容を自分の言葉で文章にまとめたり, 意見交換したりすることで生徒が主体的な学習(アクティブ・ラーニング)に取り組めるように配慮した。
- ③第3編3章「現代世界と日本」では, 日本の抱える地理的諸課題を見出し, その解決の方向性を探究する活動を通して, 意見の交換や, 様々な方法による発表を行うことで言語能力の育成を図ることができるように工夫した。

### 2. 見通しを立てたり, 振り返ったりする学習活動の重視

- ①各章の冒頭に, 当該の章で学習する内容を概観できるようにリード文を掲載し, これから学ぶことへの見通しを立てられるようにした。
- ②重要語句を見開きごとに「KEY WORD」としてまとめ, 押さえるべきポイントを明確に示し, 学習内容を振り返る際の手助けとなるようにした。

### 3. 障害のある生徒の指導

色覚特性のある生徒にも判別しやすいように, 配色に配慮した。

◎地理歴史科(地理B)の目標に関して, 以下の点に配慮した。

### 4. 現代世界の地理的認識の育成

- ①随所に本文内容を補完し, 重要語句の説明をした「TERM」や「NOTE」を配し, 地理的事象の理解が深まるようにした。
- ②世界の地誌を学習する第3編2章では, それぞれの事例地域の冒頭ページに地勢図を大きく掲載し, 地域の自然環境や全体像をとらえながら学習できるようにした。
- ③巻頭には世界全図と主要な国際機構・地域機構を掲載し, 地理的な事象と国や地域の関係を意識しながら学習できるようにした。

### 5. 地理的な見方や考え方の習得, 国際社会に主体的に生きる自覚と資質の養成

- ①第1編2章「地図の活用と地域調査」, 「SKILL」などの活動を通して, 地域調査の方法や写真・地図などの資料の読み取りといった基本的な地理的技能を身に付けるとともに地理的な見方や考え方を養えるようにした。
- ②第3編3章「現代世界と日本」では, それまでに学習した内容を踏まえて, 世界的な視野から日本の抱える地理的諸課題を探究し, その解決の方向性や将来の国土のあり方などを展望する活動を通して, これからの国際社会における日本を担う自覚と資質を育むことができるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 さまざまな地図と地理的技能		5～28ページ	
第1章 地理情報の表現方法	内容(1)ア	6～19ページ	6
1 球体としての地球			2
2 地理情報と地図			2
3 地理情報を地図化する			2
第2章 地図の活用と地域調査	内容(1)イ	20～28ページ	3
第2編 現代世界の系統地理的考察		29～228ページ	
第1章 自然環境	内容(2)ア	30～97ページ	21
1 世界の地形			7
2 世界の気候			9
3 日本の自然環境			2
4 世界の環境問題			3
第2章 産業と資源	内容(2)イ	98～171ページ	32
1 産業の発展と産業地域			2
2 農林水産業			6
3 食料問題			2
4 エネルギーと鉱産資源			4
5 資源・エネルギー問題			2
6 工業の立地と工業地域の変容			8
7 第三次産業と交通・通信			3
8 消費と観光			3
9 貿易と経済機構			2
第3章 人口、都市・村落	内容(2)ウ	172～201ページ	13
1 人口			3
2 人口問題			2
3 都市・村落			6
4 居住・都市問題			2
第4章 生活文化、民族・宗教	内容(2)エ	202～225ページ	12
1 生活文化			4
2 民族・言語・宗教			2
3 民族問題			4
4 現代の国家と領土問題			2
第3編 現代世界の地誌的考察		229～329ページ	
第1章 現代世界の地域区分	内容(3)ア	230～235ページ	3
1 地域区分の方法と意義			2
2 地誌的な考察方法とこの教科書の事例地域			1
第2章 現代世界の諸地域	内容(3)イ	236～319ページ	44
1 東アジア			9
2 東南アジア			5
3 南アジア			4
4 西アジアと中央アジア			3
5 北アフリカとサハラ以南アフリカ			3
6 ヨーロッパ			5
7 ロシア			3
8 アングロアメリカ			5
9 ラテンアメリカ			3
10 オセアニア			4
第3章 現代世界と日本	内容(3)ウ	320～329ページ	6
1 日本が直面する地理的な諸課題			2

2 日本が抱える地理的諸課題を探究する		4
	計	140